

鳥取県中部地震に係る 鳥取県災害対策本部幹事会会議（第1回）

【日時】 10月26日（水） 16:00～

【場所】 災害対策本部室（県庁第2庁舎）

数値等は速報値のため今後変更となることがある。

発生日時： 10月21日 14時07分

震源： 鳥取県中部（N35度22.8分、E133度51.3分）

マグニチュード：**6.6（暫定値）**

震源の深さ： 11km（暫定値）

【各地の震度（鳥取県関係）】

震度6弱 倉吉市、湯梨浜町、北栄町

震度5強 鳥取市、三朝町

震度5弱 琴浦町、日吉津村

※この地震による津波の心配なし

1 幹事会会議について

1. 参集者

各部局等、災害対策本部地方支部の次長級職員、
市町村関係課長

2. 開催日時・場所

毎週 月・水・金（午後4時～）

※必要に応じ、随時開催

災害対策本部室（県庁第2庁舎・テレビ会議併用）

3. 目的

- ・部局横断的な事項等の調整、情報共有
- ・その他、必要な対策等の調整

4. その他

災害対策本部は必要に応じて開催する

2 県の対応状況など

10月21日（金）

14:07（発災同刻） **県災害対策本部設置**

15:05 第1回災害対策本部会議（直近10/25 第7回会議）

16:20～ 災害時緊急支援チーム派遣（倉吉、湯梨浜、北栄）

19:22 自衛隊の災害派遣（倉吉市へ給水）

【災害救助法の適用】 ※10/24三朝町を追加適用

◆**県内4市町に災害救助法を適用**

（倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町）

◆**適用日 10月21日（4市町とも）**

3 物資等の調達・支援

- 被災市町（倉吉市、湯梨浜町、北栄町）へ食事、飲料水、毛布を調達済
※食事は継続して手配中
- 離乳食（湯梨浜町）の要請 →対応済
- ブルーシート、固定用ロープ等の配布・敷設準備
→兵庫県、徳島県、熊本県、県内市町村、中国地方整備局、中国知事会、協定業者等から調達。
自衛隊・県職員災害応援隊が支援（10/22～）
- 倉吉市ボランティアセンター設置のため電話の臨時設置
→NTTと倉吉市社協で詳細調整
- 避難所の物資ニーズを調査中
→随時対応予定。ストーブほか納品済

4 り災証明の受付状況

倉吉市 (10/23~)

三朝町 (10/26~)

湯梨浜町 (10/23~)

琴浦町 (10/25~)

北栄町 (10/25~)

受付件数等を集計準備中

5 主要懸案事項・目標

項目	対応方針
降雨への対応	・住民への注意喚起 ・土砂災害への対応
被害認定業務(他府県の応援等)	・被害認定業務の人的支援を要請する →必要人数の見積もり[災対事務局]
支援策のパンフレット作成	[元気]
避難所運営	運営チェックシート配布、間仕切り、段ボールベッド、、女性警察官特別機動隊(おしどり隊) [事務局、総務] ・避難所の巡回(子ども、女性に配慮した環境整備の助言)

【目標】

1. 児童・生徒の学びの場として学校を再開させる
2. オール鳥取県BCPを発動した事業継続

6 各部局の被害状況など (元気な鳥取の情報発信)

元気づくり総本部

● イベントやメディアを活用した元気な鳥取発信

【風評被害払拭大作戦】

- 首都圏・関西圏での観光キャンペーンと連携したPRイベントの実施
(10月27日アンテナショップでのイベントなど)
- 様々なメディアを活用した全国への情報発信
- 観光宣伝、宿泊サイトへの広告・情報発信・送客要請活動
- 海外からの誘客に向けた情報発信

● 災害被災地応援サイトの充実による情報提供

- 新たに住宅再建支援等を掲載
- 被災者が必要とする情報に合わせ、鳥取県ゆかりの方々からの応援メッセージなど被災者を元気づける情報の発信
- 観光地や交通機関等、観光地鳥取が元気であることの発信

(被災者向けちらし・パンフレットの配布)

- 避難生活の留意点や相談窓口、り災証明の説明などを掲載したちらしを作成し、各避難所などに掲示及び配布 (随時更新中)
- 被災者向け、被災事業者向けに各種支援策を取りまとめたパンフレットを作成し、市町等を通じて配布

【部数】: 1,000部(第1版)

【配布先】: 倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町、中部総合事務所

【主な掲載内容】

- ・被災者住宅再建支援補助金、被災者住宅修繕支援金
住宅が被災した世帯の住宅再建及び修繕を支援
- ・災害等緊急対策資金の貸付
施設・設備等の損壊や売上げ減少などの被害を受けた県内中小企業者に
事業資金を貸与 等



(ツイッター等を活用したリユース情報のマッチング)

【個人向け】

- ツイッターを活用して、(公財)とっとり県民活動活性化センターが、家財(家具・家電)を提供したい人と必要とする人との情報をマッチングする場を設定

【団体向け】

- 被害を受けたNPO法人等に対し、(公財)とっとり県民活動活性化センターと認定NPO法人イーパーツが連携し、リユースPCを無償提供を開始

【連絡先】

鳥取県倉吉市山根557-1 パープルタウン2階
(公財)とっとり県民活動活性化センター
電話 0858-24-6460

総務部（応援職員派遣状況）

1 専門職の派遣

- 土木：宅地危険度判定士として24名を派遣
 - ※徳島県、島根県、岡山県、香川県、高知県、山口県、広島県、広島市からの応援職員53名を派遣
 - ※鳥取市、米子市、境港市、岩美町、智頭町、大山町からも15名を派遣
 - ※南部町建設業協会より4名が参加
- 建築：応急危険度判定士として建築士4名を派遣
 - ※徳島県、島根県、岡山県、広島県、愛媛県、山口県、香川県及び宮城県と国からの応援職員54名を派遣
 - ※鳥取市、米子市及び境港市からも5名を派遣
 - ※県建築士会より民間建築士22名が参加
- 農業土木：本庁、東部及び西部農林局からの応援4名と中部農林局の技師で新たな被災箇所がないか点検を実施
- 保健師：倉吉市、三朝町、湯梨浜町及び北栄町へ4名を派遣
 - ※鳥取市、米子市、南部町、大山町、広島県、岡山県、徳島県からも16名を派遣
 - 中部福祉保健局及び倉吉市の行政支援として島根県からの応援職員6名

総務部（応援職員派遣状況）

2 避難所運営等の行政支援

- 各部局からの動員職員 53名（西部からの緊急支援チーム10名を含む）
→ 市町からの要請に応じて避難所運営、支援物資の配送、がれき置場の管理等に従事
- 人員配置に当たる職員として行革局職員2名を派遣

総務部（避難所運営支援状況）

3 避難所運営物資（段ボール）の供給

※災害時における物資供給に関する協定書に基づき、日段(株)に製造供給を要請。

要請受付	市町名	品目及び数量	納品先	対応状況
10/22(土)	倉吉市	間仕切り用段ボール: 2,000枚	倉吉市スポーツ センター体育館	引渡完了
10/25(火)	湯梨浜町	段ボールベッド:50床 間仕切り用段ボール: 160枚	湯梨浜町役場本 庁舎講堂	引渡完了
10/26(水)	倉吉市	段ボールベッド:100床	倉吉市スポーツ センター体育館	14:30頃 引渡予定
	北栄町	段ボールベッド:30床 間仕切り用段ボール: 90枚	北栄町役場大栄 庁舎	

今回追加

4 災害支援寄附金の受付

概要

- 10月22日21時から鳥取県への災害支援を目的としたふるさと納税の寄附の受付を始めました。災害支援を目的としたものであることからお礼の品は提供しません。
- 26日正午現在約230件464万円の寄附の申し込みをいただいています。
- 他部局と連携し、県外での積極的なPRを行います。
- 倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町においても、民間のふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」で災害復興支援の受付を実施。

地域振興部(公共交通機関の運行(運航)状況)

1 航空関係

国内線、国際線:通常運航

(1) 米子空港

①国内線

- ・22日(土)以降、ANA国内線は通常運航

②国際線

- ・22日(土)の香港便は台風の影響のため遅延
- ・23日(日)のソウル便は通常運航

(2) 鳥取空港

- ・22日(土)以降、ANA国内線通常運航
- ・24日(月)以降、鳥取空港連絡バス(倉吉方面)のうち三朝発着便(1日1便運行)は、路線バスが倉吉市内の一部迂回運行中は、鳥取空港－倉吉駅間運行とする。

2 鉄道

- ・22日(土)始発から、普通列車、特急列車いずれも通常運行。

3 バス(日ノ丸、日交、市町村営バス)

- ・23日(日) から県内全路線で通常運行

※ただし、倉吉市内の一部区間(大原橋バス停～大原南口バス停)で迂回運行

4 隠岐汽船

- ・22日(土)から高速旅客船、フェリーともに通常運航

公共交通機関はすべて通常運行

※日ノ丸バスが、倉吉市内の一部区間(大原橋バス停～大原南口バス停)で迂回運行中

※鳥取空港連絡バス(倉吉方面)のうち三朝発着便(1日1便運行)は、上記迂回運航期間中は、鳥取空港－倉吉駅間運行とする。

※ 本部会議報告時(10/25)から特段の状況の変化なし

地域振興部(文化・体育施設の状況)

予算措置とともに入居者の移転を調整中

※本部会議報告時(10/25)から特段の状況の変化なし

1 倉吉未来中心

- ・復旧に最低でも3か月以上かかる見込み

【被害状況】

- ・アトリウムの吊り天井の一部(約140㎡)が落下、内壁仕上げ材落下(複数箇所)
- ・アトリウムのトラス基礎部分に著しい損傷(事務所側のトラス基礎)等

※その他、被害の詳細について鋭意調査中

2 倉吉体育文化会館

- ・体育館は復旧まで利用中止(数か月程度が見込まれる)

会議棟は給水管の応急処置により仮復旧し、早期営業再開を目指す

【被害状況】

- ・体育館 90cm四方の天井板が30数枚落下、外回り高窓ガラスが破損・落下、
1・2階部で軒天井仕上げ材等破損落下など
- ・会議棟 屋上高架水槽破損により漏水(水道の使用不可)など

注)2施設とも倉吉市の避難所の指定となっているが、安全確認がされるまで閉館

地域振興部(私立学校の状況)

新たに、岡大研究所及び各種学校の建物等の被害が判明

・倉吉北高校及び湯梨浜学園高等学校・中学校も、25日より通常授業

・生徒の心のケアのため、

倉吉北高校には10/25、26、28日に敬愛高校から1名

湯梨浜学園には10/25～28日に城北高校から1名

スクールカウンセラーを派遣(翌週も派遣の予定)

【被害状況】

施設	被害状況等
倉吉北高等学校	体育館壁ブレス、校舎防火扉損壊等
湯梨浜学園高等学校・中学校	校舎屋根瓦、体育館、防火扉損壊等があり、大掛かりな修理が必要
鳥取看護大学・鳥取短期大学	エレベーター外壁に亀裂、階段・通路の破損等があり、エレベーターを中心に大掛かりな修理が必要
岡山大学惑星物質研究所(三朝町)	棟内各所の壁にひび割れ、配管、ドア及び基礎コンクリートの破損等
鳥取県自動車学校(倉吉市西倉吉町)	教室、食堂のエアコン脱落、食堂の天井脱落、基礎破壊等があり、大掛かりな修理が必要
鳥取県倉吉自動車学校(北栄町)	校舎壁や天井、ガラス、ドアの破損多数、亀裂等があり、大掛かりな修理が必要
鳥取県中央自動車学校(倉吉市福庭町)	玄関入り口階段破損、一部天井脱落、校舎内壁亀裂等
倉吉予備校	校舎壁、床にひび割れ

地域振興部(被災市町への市町村職員応援)

1 被災市町への職員応援体制

- ・県市長会及び県町村会と連携し、市町村職員の派遣支援の体制を23日(日)に整備
- ・保健師派遣等、他に職員派遣に係るルートがあれば、そちらを優先 ※職員派遣情報は関係機関で共有

2 被災市町村への応援状況(市長会・町村会ルート)

<調整済(今後の予定も含む)>

平成28年10月26日 11:00時点

派遣元	派遣人数 (人日) (累計)	市長会及び町村会ルート (右記以外の業務)					県窓口分			備考	
		倉吉市	湯梨浜町	北栄町	三朝町	派遣先調整 (確認) 中	被災建築物応急危険度判定 (住まいまちづくり課)	保健師 (医療政策課)	被災宅地危険度判定 (技術企画課)		
鳥取市	107	79	16	2	10	⇒倉吉市 (避難所運営) 10/26~10/27 8名、10/28 7名、10/29~10/31 8名、11/1 7名 (土木技師) 10/26~28、10/31~11/2、11/4、11/7~8 各1名 (建築技師) 10/26~28、10/31~11/2、11/4、11/7~8 各1名	⇒湯梨浜町(10/23 4名) ⇒北栄町(10/24 2名) ⇒湯梨浜町(10/25 2名) ※10/26~30 2名づつ派遣(派遣先確認中)	⇒湯梨浜町(10/24~10/28 2名×5日)	⇒倉吉市(10/25 4名) ⇒倉吉市(10/26 3名)		
米子市	81	52		17	2	10	⇒倉吉市 (避難所運営) 10/26 5名、10/27 4名、10/28 6名、10/29 4名、10/30 5名、10/31 4名、11/1 6名 (土木技師) 10/26~28、10/31~11/2、11/4、11/7~8 各1名 (建築技師) 10/26~28、10/31~11/2、11/4、11/7~8 各1名	⇒三朝町(10/23 2名) ⇒北栄町(10/24 2名) ⇒北栄町(10/25 2名) ※10/26~30 2名づつ派遣(派遣先確認中)	⇒北栄町(10/24~10/28 2名×5日)	⇒北栄(10/25 3名)	
境港市	24	10		3	5	6	⇒倉吉市 (避難所運営) 10/26 1名、10/27 2名、10/28 1名、10/29 2名、10/30 1名、10/31 2名、11/1 1名	⇒三朝町(10/23 1名) ⇒北栄町(10/25 1名) ※10/26 2名、10/27~30 1名(派遣先確認中)	⇒三朝町(10/24~10/25 2名×2日)	⇒北栄町(10/26 2名)	
岩美町	10	7	3				⇒湯梨浜町10/24~26 (家屋被害調査)1名			⇒倉吉市(10/25 4名) ⇒倉吉市(10/26 3名)	
智頭町	1			1						⇒北栄町(10/26 1名)	
八頭町	2		2				⇒湯梨浜町10/27~28 (家屋被害調査)1名				
大山町	20		6	14			⇒北栄町10/25~10/26 (図書館業務)1名 ⇒北栄町10/26~10/28、10/31~11/2、11/4、11/7 (教育関係事務)1名		⇒北栄町(10/26~10/27 2名×2日)	⇒湯梨浜(10/25 3名) ⇒湯梨浜(10/26 3名)	
南部町	10			8	2				⇒北栄町(10/25~10/28 2名×4日)	⇒三朝町(10/26 2名)	
伯耆町	6			6			⇒北栄町10/27~10/28、10/31~11/2、11/4 (国保関係事務)1名				
日南町	2		1		1		⇒湯梨浜町 10/25 (家屋被害調査)1名 ⇒三朝町 10/26 (家屋被害調査)1名				
日野町	14			14			(罹災証明発行事務等) ⇒北栄町10/24(7名)、10/25(2名)、10/26~28(1名) (水道関係事務) ⇒北栄町10/27~10/28 1名				
江府町	2			2			⇒北栄町10/31、11/4 (水道関係事務)1名				
合計	279	148	28	67	10	26					

<調整中>

○三朝町から、瓦礫置場搬入受付事務、被災・罹災証明関係事務について要請あり。(5名)
○湯梨浜町から、罹災証明関係業務について要請あり(6名)

平成28年10月26日14時現在

1 観光相談窓口への相談・問合せ状況

26日14:00までの相談・問合せ件数 41件(観光地等の被災状況、交通規制情報、イベント開催予定等)

※前日以降新たな問い合わせなし

県内の観光に関する問合せ相談窓口電話:0857-26-7273、7421

2 県内旅館・ホテルの予約キャンセル数(概算)

予約キャンセル数(10/26時点) **9,476人泊**

(単位:軒)

(単位:人泊)

	営業継続 ・再開	休業中	キャンセル数		計	
			10月21~23日	それ以降		
東部	鳥取温泉	4	0	158	268	426
	岩井温泉	3	0	40	184	224
	吉岡温泉	11	0	0	0	0
	浜村温泉	2	0		212	212
	若桜町内	—	—	50	32	82
	計		0	460	484	944
中部	三朝温泉	22	3		2,670	2,670
	はわい・東郷温泉	14	0	916	923	1,839
	関金温泉	3	1	78	140	218
	倉吉市内	16	5		266	266
	計		9	3,664	1,329	4,993
西部	皆生温泉	20	0	1,666	688	2,354
	米子市内	—	—	182	210	392
	境港市内	—	—	150	0	150
	大山周辺	—	—	372	271	643
	計		0	2,370	1,169	3,539
合計		9	6,494	2,982	9,476	

福祉保健部の対応状況

1 医療機関等の対応

(1) 超急性期におけるDMAT及び医療救護班の活動経過

◆DMAT・日赤救護班

○中央病院(4隊)等が、厚生病院での患者搬送、県庁での本部活動等に従事
⇒ 10/21(金)~22(土)に7チームが活動し、10/22(土)撤収完了

◆医療救護班

○県中部医師会チーム等が10/23(日)に倉吉市、湯梨浜町、北栄町の避難所14箇所を巡回し、要診察者を診察
⇒ 3チームが活動、通常診療が可能であり、10/23(日)撤収完了

(2) 10/26(水)の医療機関・薬局の診療の状況等(中部)

区分	10/26(水)の通常診療・営業の見込	継続中の主な被害
医療機関	○概ね全ての病院が通常診療可能(県調査) ○全ての診療所が通常診療可能(中部医師会調査)	○一部給水車対応あり ○一部建物破損、医療機器故障
歯科医療機関	○全て通常診療可能(中部歯科医師会調査)	○一部建物破損、医療機器故障
薬局	○全て通常営業可能(県薬剤師会調査)	○なし

福祉保健部の対応状況

○エコノミークラス症候群防止対策

10/25福井大学医学部山村医師がエコノミークラス症候群予防等の観点で、避難所を視察。エコノミー症候群等の発生の危険も有り、下記のとおりアドバイスを受け、対応中。

課 題	対 策	進 捗 状 況
エコノミークラス症候群予防のための運動不足の解消が必要	避難所でのリハビリ職等による運動指導の実施	JRAT(大規模リハビリテーション支援団体協議会)のPT(理学)、OT(作業)の2名が北栄町の避難所3箇所を巡回(10/26)
エコノミークラス症候群予防等のための段ボールベッドの設置がのぞましい。	段ボールベッドの導入	県中部災害対策支部が、必要数をとりとめるとともに配給するよう対応中。 (倉吉市=まとめ中、湯梨浜町50、北栄町30、三朝町・必要なし)
口腔ケアができていない。	避難所での口腔ケア指導の実施	歯のブラッシング指導は、県歯科医師会の派遣チームが倉吉市の避難所3箇所を巡回指導予定(10/26午後・活動開始)
避難所の食事に偏りがある	避難所での栄養指導の実施	県栄養士会と調整中
エコノミークラス症候群予防検診の実施	避難所での巡回検診	福井大学病院の派遣チームが、10/29(土)に倉吉市の避難所2箇所を巡回検診するよう検討中

福祉保健部の対応状況

2 保健師の活動

(1) 保健師派遣チームの活動状況

○鳥取市・米子市・南部町・大山町と広島県・岡山県・徳島県からの派遣チーム(計8チーム:16人)が、倉吉市・湯梨浜町・北栄町・三朝町において、避難所巡回に加え、民生委員等とも連携し在宅の要支援者(高齢者・障がい者・妊産婦・新生児等)の訪問を実施中。

参考:三朝町支援の境港市チーム(2名)は10/25(水)で活動終了。

⇒不安を訴える者・眠れない・食べられない等に対して支援。(※詳細は下表)

精神障がい者等不安定な者に対する支援 → 専門職へつなぎこころのケアを対応中。

エコノミークラス症候群の予防など引き続き周知。

県保健師は引き続き、市町保健師の後方支援を担当。

○島根県2チームは倉吉市の後方支援を担当。

主として、マスコミへの直接対応や専門団体ボランティアの受付・整理等

○明日10/27(木)から、医療救護対策支部(福祉保健局)の支援に山口県の派遣決定。

(2) 在宅者巡回訪問の状況と判明した課題とその対応状況

市町	25日(火)の活動状況	把握した内容と対応	今後の活動方針
倉吉市	<ul style="list-style-type: none">各チームが担当地区の避難所を巡回し58人の健康相談を実施。広島県:6か所岡山県(1):3か所岡山県(2):2か所※民生委員との連携開始島根県チームが後方支援を開始	<ul style="list-style-type: none">高齢者の主たる避難理由は、「不安」や「家族への配慮」マスコミに対するストレスが大	<ul style="list-style-type: none">左記の活動を継続後方支援の島根県チームは主として、マスコミ対応、ボランティア団体調整・活動記録を担当

福祉保健部の対応状況

市町	25日(火)の活動状況	把握した内容と対応	今後の活動方針
三朝町	・リストアップした要支援者を町及び境港市チームで家庭訪問を実施。 74世帯	・医療ニーズのないことを確認 ・住民が近隣の者の状況をよく把握しており、問題は無いことを確認	・残る10世帯の家庭訪問を町保健師のみで実施 ※境港市チーム活動終了
湯梨浜町	・リストアップした要支援者を徳島県・鳥取市チームで家庭訪問を実施。 32世帯	・健康状態等要フォロー者はないことを確認	・支援の必要な精神障がい者宅を含め、左記の家庭訪問を継続。
北栄町	リストアップした要支援者を、米子市・南部町チームで家庭訪問を実施。 58世帯	・精神障がい者でケアの必要な者1人 →継続訪問 (精神保健福祉センター原田所長) ・屋根のブルーシート張りのボランティア不足→町の災対本部に繋いだ	・左記の家庭訪問を継続 <参考> ・26日(水)から通常事業を再開予定

(3) 協力機関の支援

(継続中の支援)

鳥取県看護協会災害支援ナースが湯梨浜町、三朝町、北栄町の避難所で活動(24時間体制)

国際医療援助団体(AMDA)が倉吉市に看護師と事務員を派遣

鳥取県介護福祉士会が倉吉市、湯梨浜町の避難所で介護の必要な高齢者の支援を実施

精神保健センター原田所長が、避難所や在宅の要支援者のこころのケアを実施

鳥取看護大学が倉吉市においてボランティア対象の健康相談等を実施

福祉保健部の対応状況

3 「平成28年鳥取県中部地震災害義援金」の募集

10月21日(金)に発生した地震により被害を受けた県民の方の復興の一助として、「平成28年鳥取県中部地震災害義援金」について募集開始

○受付期間 平成28年10月25日(火)から平成28年11月25日(金)まで
※募金箱の設置については平成28年10月26日(水)から

○実施方法

(1) 募金箱の設置

[共同募金会]	鳥取県共同募金会
[NHK鳥取放送局]	NHK鳥取放送局
[鳥取県]	県庁(県民課)、各総合事務所地域振興局、県立図書館、県立博物館、県外本部等

(2) 口座振込み

[日本赤十字社]	山陰合同銀行・鳥取銀行の指定口座
[共同募金会]	山陰合同銀行・鳥取銀行の指定口座
[鳥取県]	山陰合同銀行・鳥取銀行の指定口座(※10月26日開設予定)

(3) 現金書留による送金

現金書留でお送りいただく場合は、現在、鳥取県共同募金会(鳥取県福祉人材研修センター内)で手数料が無料になるよう手続中

災害ボランティアセンター

○災害ボランティアセンター設置・活動状況

市町	開設時期	開設場所	10月26日(水)の活動内容
倉吉市	10月22日(土) 午後2時	上灘 公民館	ボランティアの受付(8:30~17:00) 85名のボランティアが活動中(午前中) ※25日: ブルーシート張り、瓦礫・家屋片付け(77名)
湯梨浜町	10月22日(土) 正午	湯梨浜町役場 別館講堂	ボランティアの受付(9:00~17:00) 9名のボランティアが活動中(午前中) ※25日: ブルーシート張り、瓦礫・家屋片付け(17名)
北栄町	10月22日(土) 午前10時	北栄町 社協	ボランティアの受付(9:00~17:00) 52名のボランティアが活動中(午前中) ※25日: ブルーシート張り、瓦礫、家屋片付け(31名)
三朝町	10月25日(火) 午前8時半	三朝町 社協	ボランティアの受付(8:30~17:00) 7名のボランティアが活動中(午前中) ※25日: ブルーシート張り、瓦礫、家屋片付け(6名)
県社協	10月22日(土) 正午	鳥取県社協	災害救援ボランティアセンター支援本部の運営 活動内容: 市町の災害ボランティアセンターの支援 倉吉市: 3名、湯梨浜町: 1名、北栄町: 2名、三朝町: 2名 派遣 ※25日: 倉吉市: 3名、湯梨浜町: 1名、北栄町: 2名、三朝町: 2名 派遣 情報収集・広報、コーディネート、ボランティアの安全確保に関する注意喚起

生活環境部の対応 1

【被害・影響】 ※第7回本部会議以降の変更箇所は赤字・下線。

上水道	倉吉市:復旧作業により断水は解消 (0戸←24日断水100戸)
-----	---------------------------------

【対応状況】 ※第7回本部会議以降の変更箇所に下線。

上・下水道	<ul style="list-style-type: none"> 倉吉市:全面復旧に向け作業中。(小規模被災箇所も含め約9割を復旧済み) 26日から体制を縮小し、倉吉市のみで対応中。<u>(本日中を目処に作業中)</u> 各町:断水は解消。<u>(濁水が継続している箇所は、ポリタンク給水を継続中)</u> 県浄化槽協会との協定により、点検・復旧の実施を調整中。
災害廃棄物の仮集積場	<p>倉吉市:1カ所。22日14時から受け入れ開始。(8～17時受入れ) 三朝町:1カ所。23日8時30分から受け入れ開始(8時30分～17時受入れ) 湯梨浜:3カ所。22日13時から受け入れ開始(9～17時受入れ) 北栄町:2カ所。22日15時から受け入れ開始(9～17時受入れ) <u>琴浦町:1カ所。24日10時から受け入れ開始。(10～15時受入れ)</u> <u>※災害廃棄物の処理について、環境省とともに現地巡回・説明中(26日)</u> <u>※墓石の処理については、個人処理とするよう調整。(復旧処理の好事例を市町村にメールで紹介済)</u></p>
悪質商法への注意喚起など	<ul style="list-style-type: none"> 県の被災地応援サイトに情報掲載。 被災者向けチラシを作成し、配布を手配済み。 被災した中部消費生活センターは、中部総合事務所に場所を確保し、相談体制整備。

生活環境部 2

【対応状況】 ※第7回本部会議以降の変更箇所は赤字・下線。

<p>応急危険度判定</p>	<p>各市町の要請に応じられるよう、増員。 23日：17名(8チーム) 倉吉市以外の市、県の職員、徳島県(2名) 24日～：島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、宮城、中国地方整備局から応援 (24日は38名、25日54名、26日54名の応援受入れ予定。27日～高知からも応援)</p>
<p>り災証明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25日に、内閣府の協力で行政職員向けの被害認定研修を実施し、必要な人員を養成。 (19市町村・68名が参加) ・ 地域振興部と連携し被災市・町の発行業務を支援。(28日から関西広域連合による応援、14人×3日間)
<p>住宅再建支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被災した住居の修繕支援について、24日に被災者住宅再建支援制度運営協議会で一部損壊を対象とすることを確認。 ・ 本日の知事専決補正予算により鳥取県被災者住宅再建当総合支援事業を実施。 被災者住宅再建支援補助金 助成額：30万～300万円 対象：全壊、半壊、一部損壊(損害基準判定10%以上の世帯) 被災者住宅修繕支援金 助成額：5万円(但し、4%以下の軽微な損壊は、段階的に1万円まで支援額を引き下げ) 対象：一部損壊(損害基準判定10%未満の世帯) <p>※ り災証明の速やかな証明発行に向け、写真を活用して審査するなど柔軟な対応を市町村に お願いしたい。(25日夜に県民向けチラシ(暫定版)を市町村担当と共有済)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅再建が迅速に進むよう、国の被災者住宅支援制度の柔軟な対応等について国へ要望。
<p>住宅の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅に戻れない場合に、入居可能な県営住宅を確保。10月26日から入居希望を受付。 県営住宅19戸(鳥取市内7、倉吉市内6、米子市内6) ⇒申込受付7件(26日正午現在)
<p>建物修繕相談窓口</p>	<p>10月23日、中部総合事務所2号館(2階)に『被災建物修繕等総合相談窓口』開設。 9～17時まで、2名体制(県職員+県瓦工事業組合)で対応。</p>

商工労働部(被害・対応状況)

※ 10/25 18時以降の新たな情報を下線で記載。

○ 倉吉商工会議所(倉吉市明治町)

- 10/24(月)、県の応急危険度判定の結果、使用は差支えない旨判定。建物の2階で執務を行うことを決定。
- 管内企業については、県内商工団体が連携し、震災対応融資などの窓口業務の代行や、経営相談員派遣などの人的支援を行う。

○ 中部管内の企業の状況

<小売業・飲食業>

- 陳列商品の散乱被害が多発。瓶飲料・食器が多数破損。高単価商品は破損被害額が大きい。
 - ・ 酒、ワイン、ウイスキー、油・ドレッシング等の瓶詰め商品、貯蔵タンクが多数破損。
 - ・ 食器ほぼ破損。厨房機器も大きく損壊。高単価の時計・メガネ等に大きな被害。

<その他>

- ・ 地震対応修繕が優先となり、通常受注の工期が遅れ、損害発生。(建築業)
- ・ リフトアップ中の自動車が落下し、他の整備車両にも被害発生。(自動車整備業)
- ・ 自宅兼店舗が被災。後継者なく事業主も高齢のため廃業の懸念あり。(小売業)

<製造業>

- 工場内散乱被害が多発。操業再開した企業もあるが、設備点検等に時間を要している状況。
 - ・ 停電により機械プログラム不調で整備が必要 (倉吉市谷ノ部品製造)
 - ・ 計測機器に調整が必要であることが判明。メーカー確認中。(倉吉市西倉吉ノ建材製造)
 - ・ 水道管破裂により射出成型機が水を被り、稼働できない。来週以降の稼働見込。(倉吉市西倉吉ノ樹脂加工)

商工労働部（被害・対応状況）

※ 10/25 18時以降の新たな情報を下線で記載。

10/25専決

○「がんばる企業を応援！特別金融支援事業」の創設

- (1) 災害等緊急対策資金「平成28年鳥取県中部地震対応枠」の増枠
(10億円 → 50億円)
- (2) 復興支援利子補給制度の新設（5年間無利子化）
- (3) 復興支援保証料軽減補助制度の新設（5年間無保証料）

10/26（水）15:00～（中部総合事務所）

○「鳥取県中部地震からの復興を話し合う官民会議」を開催

鳥取県中部地震からの復興に向けて官民が連携して力強く取り組むため、今後の取組等について意見交換を行う。

出席者 商工団体・農林水産団体・観光団体・建設団体・医療関係・自治体（倉吉市・湯梨浜町・北栄町・三朝町・琴浦町・県）

農林水産部の対応

1. 被害施設の速やかな復旧支援

- JA選果場等の共同利用施設について、国事業を活用しながら、速やかな復旧を支援する
- 被害内容・規模を精査中であり、並行して応急危険度判定士診断を実施中
(→現在判明分で既に被害規模は3億円を超える状況)

施設区分	主な施設名	主な被害内容	被害額(判明分)
選果場	倉吉梨、東郷梨、大栄西瓜	建物破損(壁・ガラス割れ、基礎)、選果機破損	260,000千円
ライスセンター、カントリーエレベーター	<u>秋喜、東伯、北条等7箇所</u>	建物・乾燥施設等の破損	<u>69,000千円</u>
漁業施設	赤碕町漁協荷さばき所	外壁一部崩落	1,000千円
大山乳業農業協同組合	粉乳工場	建物・工場基礎の破損	<u>30,000千円</u>

2. 落果梨の販売促進

- 落果梨を「わけあり商品」として販売する際の収入減少分を一部支援するほか、果樹共済の掛金助成により、梨生産者の共済加入を促進する
- 東京・大阪で梨販売促進キャンペーンを実施予定(→10/27:東京アンテナショップ、10/28~30:阪急うめだ店等)
- 岡山県真庭市の学校給食へ梨を提供

管内	市町	被害規模	被害内容と被害額
中部	湯梨浜町	<u>8.33ha</u>	<u>地震の揺れによる落果</u> 中部全体の落果率は6割程度、被害額は <u>5,884万円</u>
	倉吉市		
	三朝町		
	北栄町		
	琴浦町		

農林水産部の対応

3. ため池、農地、農業用施設の災害復旧

- 被災箇所の確認作業を進めており(現段階で被災箇所:73箇所、被害額:3千9百万円)、国・県事業を使いながら速やかな復旧を支援する

区分	被害場所	主な被害内容	被害額(判明分)
農地	<u>鳥取市</u> 、 <u>倉吉市</u> 、三朝町、湯梨浜町 等 <u>21箇所</u>	<u>芝畑の液状化</u> 、 <u>水田・畑法面の崩壊</u> 、 <u>石積み崩壊</u>	<u>4,200千円</u>
ため池	倉吉市、湯梨浜町、 <u>北栄町</u> 、 <u>琴浦町</u> <u>12箇所</u>	天端クラック、連絡道の路肩崩壊、崖の崩壊	5,100千円
農道	<u>鳥取市</u> 、 <u>倉吉市</u> 、湯梨浜町、 <u>北栄町</u> 、 <u>大山町</u> <u>29箇所</u>	路面クラック、法面崩壊	<u>24,500千円</u>
水路	倉吉市(四王寺)、 <u>北栄町</u> (北条砂丘)等 10箇所	水路法面崩壊、水路壁クラック、パイプライン漏水、石積崩壊	5,200千円
<u>集落排水</u>	<u>湯梨浜町</u>	<u>施設の地盤沈下</u>	<u>調査中</u>

4. 食糧の調達

- スーパーマーケット、コンビニ等からの手配により、十分な食糧を調達する

日付	要請元(食数)	手配状況
<u>27日</u>	倉吉市(<u>500食</u>)、湯梨浜町(<u>100食</u>)、 <u>北栄町</u> (<u>110食</u>)、三朝町(<u>50食</u>)、 <u>琴浦町</u> (<u>0食</u>)	コンビニ、仕出し店から、水・弁当等を調達
<u>28日</u>	倉吉市(<u>500食</u>)、湯梨浜町(<u>100食</u>)、 <u>北栄町</u> (<u>100食</u>)、三朝町(<u>0食</u>)、 <u>琴浦町</u> (<u>0食</u>)	コンビニ、仕出し店から、水・弁当等を調達

県土整備部の対応(1/4)

1. 県土整備部所管にかかる被害、点検状況 26日13時時点(は25日15時時点からの追加部分)

(1) 公共土木施設被害状況

○道路

【通行止】県管理 全面3路線、片側なし 国管理 片側1路線、全面なし

全止 県管理 鳥取鹿野倉吉線(三朝町大瀬～倉吉市大原 落石)

→開通見込未定→う回路有。早期開通に向け25日10時に応急工事着手

三朝温泉木地山線(三朝町三朝 路面変状)

→開通見込未定→う回路有。早期開通に向け25日11時に応急工事着手

下見関金線(倉吉市森 土砂崩落の恐れ)

→開通見込未定→う回路有。コンサル調査済。余震でクラック不安定により経過観察中

片交 国管理 国道9号(鳥取市青谷町青谷 路面にひびわれ)→解除見込未定

※交通規制については関係機関と速やかな情報共有を図っている

【被害箇所】【県管理】道路57箇所、橋梁0箇所 【市町村等管理】道路3635箇所、橋梁0箇所

313号北条倉吉道路～倉吉道路 路面クラック

鳥取鹿野倉吉線(三朝町大瀬～倉吉市大原) 落石・倒木

〃 (三朝トンネル坑口外倉吉側) 路面変状(舗装隆起)

橋梁前後段差 倉吉大橋、東郷大橋他全6橋梁 いずれも通行可

→災害復旧対応

※応急復旧済含む

(災害査定に向けて準備中)

○河川 【被害箇所】3箇所

北条川、鮎川で護岸前出しビニシート等処置し立入禁止措置済

→災害復旧対応(災害査定に向けて準備中)

○海岸保全施設 【被害箇所】1箇所

大栄西海岸水路取付護岸前出し 立入禁止措置済→災害復旧対応(災害査定に向けて準備中)

県土整備部の対応(2/4)

○ダム【被害箇所】なし(小規模な応急工事 1件)

東郷ダムについては26日12:44発生の余震で東郷ダムが点検基準に達したため点検中

※小規模な応急工事:佐治川ダム 管理道一部変状→知事専決維持管理予算で応急工事対応

○港湾 赤碕港 小規模な変状について24日コアボーリングで空洞がないこと確認済。処置について検討中)

○その他施設【被害箇所】なし

砂防堰堤、急傾斜施設、港湾施設、漁港施設、空港施設(鳥取空港、米子空港)

※八葉寺川の濁りについては26日に専門家と上流部を現地確認。山腹崩壊もなく問題なし。

※市町災害調査状況

倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町とも一通り調査終了し、災害報告に向けてとりまとめ作業中。今後、災害査定に向けて業務内容、スケジュール等の確認を進め、相談窓口を設置するなど、市町村支援を図る。

→今後の災害復旧業務に向け、必要に応じて技術的職員を要請していただくよう伝達済
(湯梨浜町は在町のTEC-FORCEにその他施設点検も依頼し実施中)

(2)土砂災害危険箇所点検

10/22から実施中。2625日は1346班で実施予定

県庁治山砂防課職員及び土木防災・砂防ボランティアに25日以降、県測量設計業協会が協力

点検箇所:震度5強以上を記録した旧市町村内に位置する危険箇所のうちランクⅠ及びⅡ

(土石流467箇所、急傾斜666箇所、地すべり13箇所 合計1,146箇所)

2524日までに717335箇所点検済(2524日382434箇所) 今週点検完了予定

→A(緊急対応必要箇所):189箇所、B(経過観察):4647箇所、C(対応不要):653309箇所←速報値

※必要な箇所はブルーシート等で処置及び変位計測実施(状況を市町に伝え、雨風等の対応について依頼済)

(3)採石場・砂利採取場 異常なし

県土整備部の対応(3/4)

2. 被災宅地危険度判定派遣

10/21から実施中。22日から徳島県1班2名の先遣隊が参加(24日から3班8名)

2625日は3223班で実施(県外からの応援については、徳島県、岡山県・市、島根県、香川県、高知県、広島県・市、山口県。県内からの応援については鳥取市、米子市、境港市、岩美町、大山町、智頭町、南部町及び民間建設業の判定士が活動)

→早急な宅地判定を必要とする倉吉商工会議所と選果場を含む農漁業関係施設について25日で判定完了

10/2524判定件数556304件

10/2524までに1,200644件判定(青(調査済)1,084591件、黄(要注意)6226件、赤(危険)5427件)

支援の要請

県内市町、中国四国ブロック県並びに民間判定士の増援を受け、判定体制を強化。

3. 技術的支援職員(県から市町村へ)

派遣2名:10/21~10/24終了 今後、派遣要請があり次第、派遣可能

4. 支援物資準備状況(作成と配送を東部・中部・西部建設業協会に依頼済)

土のう 合計27,900袋(配送済 中部総合、倉吉市役所、旧羽合町役場、大栄庁舎等)

シート 3,546枚(配送先 中部総合)

仮設トイレ 30基3小中学校へ配置済

※各資材の調達は県建設業協会各支部及び国交省の協力と県各事務所による

※シート張りについても県建設業協会各支部に依頼済

5. 国の動き

○TEC-FORCE(14名派遣)21日21時出発 22日到着

○照明車待機:2台

○リエゾン派遣:21日から4名 岡山、鳥取から派遣

○ヘリコプター:21~22日 国交省が高松空港、出雲空港から飛行 大きな崩壊なし

〃 林野庁近畿中国森林管理局が県と合同で森林状況を調査 異常なし

県土整備部の対応(4/4)

- 6. その他
 - 土砂災害警戒情報発表基準を暫定的に引き下げて運用
 - 安心につなげるため、土木施設の状況と通行できる道路などの施設機能情報をHP及びフェイスブックで配信中
 - ①通行できる道路の情報
 - ②空港港湾の機能情報
 - ③河川・ダム・海岸・砂防・急傾斜施設の点検結果
 - ④土砂災害危険地区の点検状況
 - ⑤市町村支援の状況
 - 三徳山文殊堂付近の状況について、専門家による現地確認を25日に実施済。今後の対応については関係部局と協議中。

企業局の対応

○水力発電施設

- ・小鹿第一発電所 導水管路の空気弁からの漏水
 - ・応急対応として発電を停止し、取水口を閉じて放水作業を行い、漏水が止まったことを確認。(10月24日)
- ⇒ 発電停止期間中は、暫定水位でのダム管理運用を行う。
(運用最高水位 通常:15.9m、暫定:11.5m)
- ・小鹿第二発電所 外構にわずかな段差が発生
- ・その他の発電所 異常なし

○ダム及び調整池

- ・茗荷谷ダム 異常なし
- ・中津ダム・調整池 堤体部異常なし
- ・中津ダム湖周辺斜面の崩落も確認されず

※中津ダムについて、少なくとも今週中は、24時間監視と緊急対応がとれる体制を継続。

○風力発電施設 異常なし

○太陽光発電施設 異常なし

○工業用水

- ・鳥取地区工業用水 異常なし
- ・日野川工業用水 異常なし

○小鹿第一、第二発電所の今後の対応

- ・調整池のにごりは、当分の間、経過観察。
- ・漏水止水工事及び隧道内部の安全確認を行い、年内を目途に発電を開始。

県立病院の被害状況及び今後の対応

水道水の濁りも解消し、通常どおり稼働中

【厚生病院】

(1) 施設被害・ライフライン

- 旧館の壁にひびが入る等、建物の一部に損傷はあるが、診療に影響はない
 - 新館正面玄関前及び救急外来入口等の敷地に段差
 - 検査機器(MRI)や放射線治療機器(リニアック)を含め、全ての機器は通常どおり稼働中
 - 水道、ガス等ライフラインは完全復旧
- 復旧工事に着手済

(2) 診療

- 外来：一般外来、救急外来とも通常通り
- 入院：通常通り

(3) 給食の提供

- 24日(月)朝食から通常通り

教育委員会（学校等の状況）

※10/26 14:00時点 下線部が主な変更箇所

1 県立学校（全32校）及び公立小中特別支援学校（全187校）の状況

（1）授業の実施

通常どおり実施（10/26）

（2）スクールカウンセラーの活動

スクールカウンセラーを中部地区の学校に派遣。心のケアが必要な児童生徒に対してカウンセリングを実施中。

（3）兵庫県教委の震災・学校支援チームEARTH（アース）及び熊本県教委派遣者による支援活動

- 児童生徒の心のケア、学校避難所運営、学校給食再開等に対する支援を実施中。当該チームのノウハウ・アドバイスも生かしながら子ども達へのきめ細やかな対応を実施
- 「鳥取中部地震における心のケア研修会」（中部：10/27・31、11/1）
国内をはじめ海外においても学校を支援してきたEARTH（アース）の方に講義等をしていただき、児童生徒、教職員への適切な対応に係る研修会を実施する

（4）学校施設・給食センター等への対応状況

県教育委員会の建築技師等が現地確認を実施。施設の復旧等について、県教育委員会も各市町教育委員会を支援していく。

2 文化財の状況

指定文化財について新たな被害はなし。

（被害が生じているものについては、所有者等と今後の修復方法について検討）